

平成 30 年 3 月 9 日

独立行政法人 水資源機構 徳山ダム管理所

お 知 ら せ (速 報)

1. 件 名

平成 30 年 3 月 8 日の前線・融雪による徳山ダムの防災操作

2. 概 要

平成 30 年 3 月 8 日 7 時から 3 月 9 日 6 時にかけて、徳山ダム流域では累計 48.8 mm の降雨 (1 時間最大 8.1mm (8 日 19 時)、3 時間最大 22.2mm (8 日 18 時から 20 時)) があり、徳山ダムへの流入量が洪水量 (200m³/s) を超えました。

このため、徳山ダムでは、ダムへの流入量 (ダムに流れ込む水の量) が洪水量 (200m³/s) を下回るまでの間、ダムからの放流量 (ダムから流す水の量) を最大約 100m³/s とし、ダムに貯め込む操作を行い下流河川の水位低減を図りました。

この間の徳山ダムの貯水位は 0.37m 上昇し、およそ 4,243 千 m³ を貯め込みました。

○ 平成 30 年 3 月 8 日 20 時 50 分から 3 月 9 日 7 時 20 分

貯水位の上昇 : 0.37m (EL. 390.55m から EL. 390.92m)

ダムに貯め込んだ水の量 : 約 4,243 千 m³

3. 雨 量

流域平均総雨量 48.8 mm 降り始めからの累計

3 月 8 日 7 時から 3 月 9 日 6 時まで

徳山ダム防災操作グラフ(平成30年3月8日7時から平成30年3月9日10時までの期間)

